令和７年度事業報告

おおいた食品産業企業会は、成長意欲のある県内食品加工企業の取引拡大の取組を支援し、食品産業を本県経済の新たな成長産業に育成することを目的に平成 26 年度からを事業スタートしています。

令和７年度は、販路拡大への取り組み４事業、商品開発３事業、人材育成２事業行いました。

現在会員数は、１２４社（会員９６社、協力会員２８社）・１２機関

１．定時総会

日程：令和７年７月１６日（水）

場所：レンブラントホテル大分　二豊の間

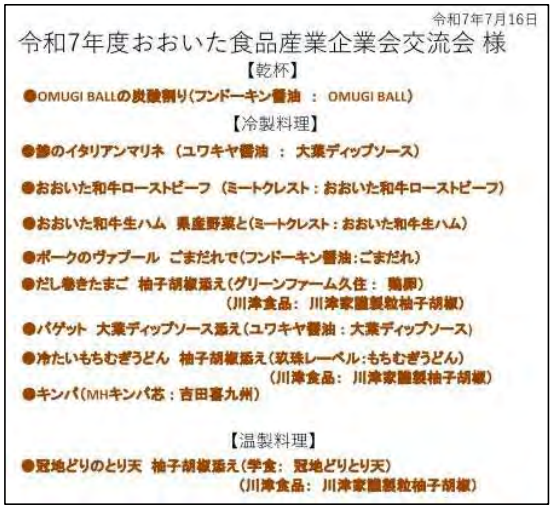
参加：総会８３人、講演会８５人

（講演会）

演題：「“人がいない”を越えていく。地方企業が選ばれるための採用戦略」

講師：ファンシップ株式会社　代表取締役　小宮 仁至 氏

総会及び交流会の様子



令和7年7月16日

令和7年度おおいた食品産業企業会交流会 様

【乾杯】

●OMUGI BALLの炭酸割り(フンドーキン醤油 ： OMUGI BALL)

【冷製料理】

●鯵のイタリアンマリネ （ユワキヤ醤油 ： 大葉ディップソース）

●おおいた和牛ローストビーフ （ミートクレスト：おおいた和牛ローストビーフ）

●おおいた和牛生ハム 県産野菜と(ミートクレスト：おおいた和牛生ハム)

●ポークのヴァプール ごまだれで(フンドーキン醤油:ごまだれ)

●だし巻きたまご 柚子胡椒添え(グリーンファーム久住： 鶏卵)
(川津食品： 川津家謹製粒柚子胡椒)

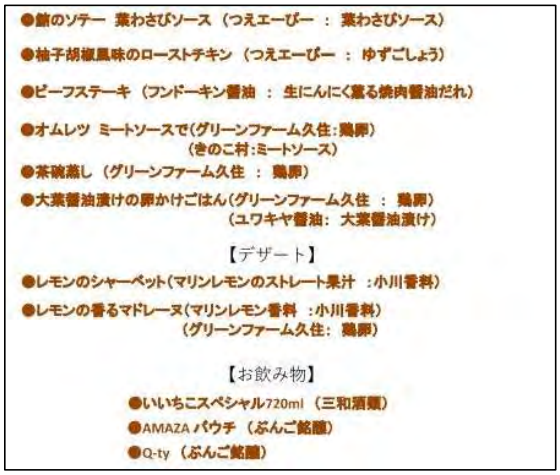
●バゲット 大葉ディップソース添え(ユワキヤ醤油：大葉ディップソース)

●冷たいもちむぎうどん 柚子胡椒添え(玖珠レーベル:もちむぎうどん)
(川津食品： 川津家謹製柚子胡椒)

●キンパ(MHキンパ芯：吉田喜九州)

【温製料理】

●冠地どりのとり天 柚子胡椒添え(学食： 冠地どりとり天)
(川津食品： 川津家謹製粒柚子胡椒)



●鮪のソテー 葉わさびソース （つえエーぴー ： 葉わさびソース）

●柚子胡椒風味のローストチキン （つえエーぴー ： ゆずごしょう）

●ビーフステーキ （フンドーキン醤油 ： 生にんにく薫る焼肉醤油だれ）

●オムレツ ミートソースで(グリーンファーム久住:鶏卵)
(きのこ村:ミートソース)

●茶碗蒸し （グリーンファーム久住 ： 鶏卵）

●大葉醤油漬けの卵かけごはん(グリーンファーム久住 ： 鶏卵)
(ユワキヤ醤油： 大葉醤油漬け)

【デザート】

●レモンのシャーベット(マリンレモンのストレート果汁 ：小川香料)

●レモンの香るマドレーヌ(マリンレモン香料 ：小川香料)
(グリーンファーム久住： 鶏卵)

【お飲み物】

●いいちこスペシャル720ml （三和酒類）

●AMAZA パウチ （ぶんご銘醸）

●Q-ty （ぶんご銘醸）

交流会では大分県産品を使用したメニューを提供

２．マッチング事業

コーディネーターによるマッチング

おおいた食品産業企業会コーディネーター　西川　学

<実績>

企業訪問数　　：延べ　１０９社（前年１０２社）

マッチング件数：　　８１件（前年２５件）

□うち、県内 相談案件

マッチング件数：３２件　うち成立：３件　不成立：２２件　継続中：７件

□うち、食のたすき関係 相談案件

マッチング件数：４９件　うち成立：４件　不成立：３５件　継続中：１１件

【マッチング事例】

・甘太くんの地獄蒸し商品について相談したい。

（依頼元：佐藤商事　→　紹介先：大分県おおいたブランド推進課）

・自社製品のスープについてハラル認証を取得したい。

（依頼元：㈱LogStyle　→　紹介先：別府モスク）

・豊後牛を使用したレトルトカレーの受託加工先を探している。

（依頼元：レンブラントホテル大分　→　紹介先：㈱成美）

3．商品開発事業

3－1．食品オープンラボ利用実績

総利用時間：770 時間（前年 1,965 時間）

総利用回数：105 回（前年 77 回）

利用企業数：28 社（前年 25 社）

利用頻度の高い設備

【糖度計：42 回】

【pH メーター：23 回】

【レトルト殺菌機：9 回】

※レトルト殺菌機、卓上型真空包装機、マルチ野菜スライサー、記憶式温度測定システムの 4 機器がリース期間満了（5 年リース）となるため R8 年度更新予定。

3－2．クラウドファンディング事業

事業委託先…株式会社 CAMPFIRE

＜活動状況＞

□クラウドファンディングセミナー【基礎編】

実施日：2025 年 7 月 18 日

参加者：6 社－8 名

内　容：クラウドファンディングの概要やメリット、実践例についてオンラインで説明

□クラウドファンディングセミナー【実践編】

実施日：2025 年 7 月 30 日

参加者：2 社－4 名

内　容：クラウドファンディングに挑戦したい企業を対象に企画立案ワークショップを実施

□クラウドファンディング実績

①株式会社 LogStyle

期間：2025 年 9 月 15 日～10 月 29 日

内容：自社マスコットキャラの着ぐるみを制作し、大分の「ニラ」の消費拡大を
推進したい。

目 標 額：2,000,000 円
支援総額：2,026,100 円（達成率 101％）

目標達成後：「ニラ子」の着ぐるみを制作した。
支援者には、返礼品としてニラ塩ポテチや
辛麺などの自社商品をお届けした。
また、令和８年８月にはゆるバースグランプリへの参加を予定しており、着ぐるみを通じた知名度向上につなげている。

②有限会社南酒造
期間：2025 年 10 月 24 日～11 月 30 日
内容：麦焼酎「とっぱい」をベースに、国東市の特産物を使用したクラフトジン
を開発したい。

目 標 額：500,000 円
支援総額：623,400 円（達成率 124％）

目標達成後：クラフトジンをつくりあげた。
支援者には、返礼品として完全非売品
の GIN をクリスマスにお届けした。
また、アメリカバーテンダーの方々に紹介を行い、令和８年６月には
FOOD TAIPEI 2026 に参加するなど、市場開拓を進めている。

３－３．坐来大分監修商品開発推進事業

坐来大分監修のもと新商品開発／既存商品のアレンジレシピ開発を実施

＜活動状況＞

□実績

①ユワキヤ醤油株式会社：
「規格外大葉」を使用した「大葉ふりかけ」の開発

②株式会社ムクノ：
フルーツピューレと地酒を使用したアルコール入りアイスクリームの開発

４．人材育成事業

４－１．食品基礎力育成研修

□講師：unid(ユーンデ)株式会社　松本　ゆかり様
　　フーズテクニカルサービス　副代表　弘蔵　周子様

□開催概要

開催日：2026 年 1 月 28 日　参加者：5 社－7 名
場　所：県庁本館 6F　防災活動支援室 2
内　容：食品のブランド作り（ブランディング）、知財（商標）基礎講義

４－２．商品開発人材研修

□講師：国産株式会社　代表取締役　影山　恭英様
　　食品安全技術センター　代表　今城　敏様

□開催概要

第 1 回：2025 年 7 月 2 日　参加者：6 社－13 名　場所：道の駅たのうらら
道の駅で取り扱う加工食品の採用基準・トレンドについて講義

第 2 回：2025 年 9 月 12 日　参加者：7 社－15 名　場所：株式会社絆屋
絆屋の工場見学及び商品化実現に必要な一般衛生管理、製造加工技術について講義

第 3 回：2025 年 11 月 5 日　参加者：3 社 5 名　場所：ホルトホール
「道の駅で取り扱ってほしい商品」をテーマに考案した新商品案のプレゼンテーション

５．販路開拓事業

５－１．ＨＡＣＣＰ（ハサップ）等支援事業

HACCP…アメリカにおける食品の衛生管理手法。意図的汚染（テロ行為）防止等の観点を追加したものはHARPC（ハープシー）という。

事業委託先…食品安全技術センター

＜活動状況＞

□食品安全強化セミナー

実施日：2025年6月2日　　参加者：13社19名

内　容：食品安全分野の国際的潮流と日本の現状を解説

□食品安全計画作成講座

実施日①：2025年6月30日　　参加者：6社7名

実施日②：2025年9月11日　　参加者：5社9名

実施日③：2025年11月4日　　参加者：2社2名

実施日④：2025年12月4日　　参加者：1社2名

内　　容：アメリカ食品安全強化法及びHARPCに基づく食品安全計画書の作成を演習をとおして実践的に習得

□FDQI食品防御適格者養成講座

実施日①：2025年7月1日　参加者：4社4名

実施日②：2025年12月5日　参加者：4社4名

内　　容：アメリカ食品安全強化法において求められる食品防御適格者を養成する講座。受講者には証明書を発行

５－２．おおいた食のたすきプロジェクト事業

県外との販路開拓、マッチング支援

事業委託先…デジタルバンク株式会社

＜活動状況＞

〇取材実績：20件

〇問い合わせ件数：32件（成立：2件／継続：17件）

〇サイト改修：サイトのターゲット（バイヤー等）をより意識した構成に改修

□主な問い合わせ内容

・自社店舗のメニュー変更に伴い、冠地どりの仕入れを考えているため業者を紹介してほしい。
（相談元：㈱MIYAVI → 紹介先：㈱学食 ⇒ 成立）

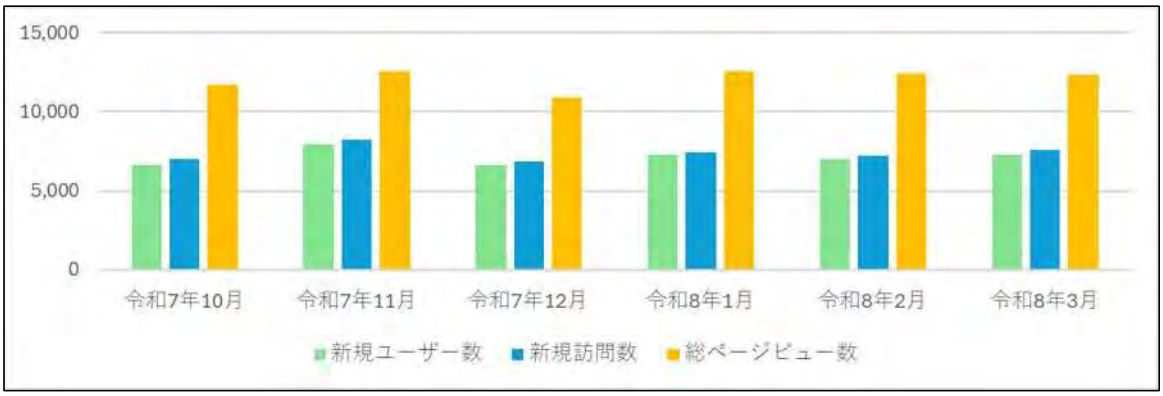
・広島県産「恋の予感」を使用した甘酒について、製造委託先を紹介してほしい。
（相談元：福山市農業協同組合 → 紹介先：ぶんご銘醸㈱ ⇒ 成立）

・そば粉を使用したかりんとうを製造できる業者を紹介してほしい。
（相談元：㈱由布製麺 → 紹介先：㈱おおいた姫島/畦道グループ/手づくり夢工房）

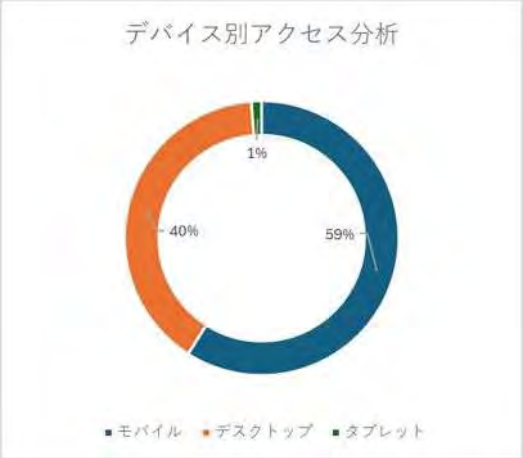
・自家栽培の無農薬ハーブを使用したハーブティーを製造したい。
（相談元：個人 → 紹介先：㈱極東クリエイト）

・納品先（百貨店、スーパー、セレクトショップ等）に直納する形での取引を希望している。
（相談元：㈱インパクトワン → 紹介先：㈲つるさき食品）

◆食のたすき　アクセス数推移（令和７年10～令和８年３月）



「食のたすき」へのアクセス方法を分析すると　**60%がモバイル（スマホ）**からで、残りはパソコンからで、その他（タブレット等）は1%程度となっている。



５－３．大規模展示会への出展支援

６展示会への出展

大分県産業創造機構が共催

令和７年度　出展展示会

展示会名	開催期間	開催場所
FOOD WAVE 2025 OSAKA（ふるさと食むすび）	R7年7月9日(水)～R7年7月10日(木)	大阪国際経済振興センター２号館（インテックス大阪）
FOOD WAVE 2026 NAGOYA（ふるさと食むすび）	R8年1月21日(水)～R8年1月2日(木)	名古屋市国際展示場３号館（ポートメッセ名古屋）
沖縄大交易会2025	R7年11月20日(木)～R7年11月21日(金)	沖縄コンベンションセンター
Food EXPO Kyushu 2025	R7年10月7日(火)～R7年10月8日(水)	福岡国際センター
第１５回通販食品展示商談会	R7年10月29日(水)～R7年10月30日(木)	東京交通会館１２Ｆ
第60回スーパーマーケット・トレードショー2026	R8年2月18日(水)～20日(金)	幕張メッセ

企業名	商談会名					
	FOOD WAVE OSAKA	FOOD WAVE NAGOYA	沖縄大交易会	EXPO九州	通販食品	SMTS
(有)上田椎茸専門店	○					
(有)エムライフシティ	○					
(有)田中醤油店	○					○
(有)ティ・アンド・エス総合企画	○	○	○	○		○
HappyFarm(株)	○	○				
(有)デリカフーズ大塚						○
(株)蜂の音						○
(有)二反田醤油店　中津工場				○		○
(有)グリーンファーム久住				○		
(株)大分からあげ		○		○		○
(有)佐藤商店						○
(株)マルトモ物産			○			
(株)信用産業				○	○	
(株)山忠		○				○
富士甚醤油（株）				○		○
工務トータル備工(有)　食品部クールフーズHANA					○	
（同）Farm Sam				○		
(株)サン・ダイコー						○
二豊フーズ（株）						○
(株)ざびえる本舗						○
松岡椎茸生産販売(株)						○
出展社数：計	5	4	2	7	2	13
商談数：全社合計	288	94	27	359	85	1542

FOOD WAVE OSAKA（ふるさと食むすび）

FOOD WAVE NAGOYA（ふるさと食むすび）

沖縄大交易会 2025

Food EXPO Kyushu 2025

第１５回通販食品展示商談会

第 60 回スーパーマーケット・トレードショー2026

令和7年度決算

収入の部　　（単位：円）

科　目	予算額 (A)	決算額 (B)	増　減 (B)－(A)	備　　考
会　　費	2,220,000	2,190,000	▲ 30,000	R8 会費2重支払分20,000円あり（1社分）
負 担 金	25,116,000	25,116,000	0	
雑 収 入	0	16,821	16,821	預金利息16,210円 令和6年度会計事務の一元化に伴う費用負担(人件費)の精算による還付金611円
繰 越 金	4,433,000	4,433,372	372	
収 入 計	31,769,000	31,756,193	▲ 12,807	

支出の部　　（単位：円）

科　目		予算額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A)－(B)	備　　考
マッチング事業費		4,309,000	3,699,829	609,171	旅費等の未執行分
商品開発事業費		3,150,000	969,004	2,180,996	
	オープンラボ運営費	2,000,000	594,009	1,405,991	オープンラボ機器導入費等の未執行分
	クラウドファンディング事業費	550,000	374,995	175,005	
	坐来大分監修商品開発推進事業費	600,000	0	600,000	未払い分
人材育成事業費		4,160,000	3,225,790	934,210	
	食品基礎力育成研修費	1,036,000	101,790	934,210	開催場所費用、印刷費、実施回数等の減
	商品開発人材育成研修費	3,124,000	3,124,000	0	
販路開拓事業費		15,648,000	15,824,850	▲ 176,850	
	ＨＡＣＣＰ等支援事業費	2,255,000	2,421,320	▲ 166,320	
	おおいた食のたすきプロジェクト事業費	6,657,000	6,667,530	▲ 10,530	
	展示会出展支援事業費	5,100,000	5,100,000	0	大分県産業創造機構との役割分担による
	中小企業販路拡大ステップアップ応援事業費	1,636,000	1,636,000	0	
事務局経費		2,406,000	1,891,722	514,278	消耗品費等の未執行分
支出小計		29,673,000	25,611,195	4,061,805	
繰越金		2,096,000	6,144,998	▲ 4,048,998	予備費
支 出 合　計		31,769,000	31,756,193	12,807	